

1. 件 名：京都大学複合原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和元年10月3日 13:30～16:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉調整官、唐箕防災専門官、佐藤防災専門官、蔦澤防災専門職、川原防災専門職

京都大学複合原子力科学研究所

副所長 他1名

5. 要 旨

京都大学複合原子力科学研究所から、令和元年11月5日に予定されている同所の原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 令和元年度評価指標のうち主に[P(計画)]、[D(実行)]に関する内容

原子力規制庁として、令和元年度訓練評価指標に基づき、計画段階で確認する評価項目について確認を行ったところ、前回訓練での課題対策の反映として、各種情報シート、緊対所配置、対応マニュアル等の見直しや新規作成を図り、それら周知教育や要素訓練を計画の上、総合訓練までに完了予定であることを確認した。なお、ERC書架内配備資料として更なる資料配備の充実を図ること、訓練実施計画の訓練課題に対する改善（対策）状況について、一部不明瞭な表記が見受けられたため修正の上再提出するよう伝えた。また、資料2について説明を行った。

今後、原子力規制庁と京都大学複合原子力科学研究所の訓練コントローラ間で調整しながら訓練実施に向けて準備を進めることとした。

6. その他

配布資料：

資料1 防災訓練事前面談資料（京都大学複合原子力科学研究所）

資料2 事業者防災訓練の実施スケジュール補足事項（原子力規制庁）